

春夏秋冬

基本理念

患者さまの人権を尊重し、心の通った医療を実践することで、地域と共に在る病院を目指します。

クリスマスコンサート開催



合唱を披露する「さざんか青少年少女合唱団」のみなさん

昨年12月23日、1階リハビリテーション室にて恒例のクリスマスコンサートを開催しました。今年も「さざんか青少年少女合唱団」の皆さんによる、童謡や歌謡曲の合唱が披露されました。

参加した患者さまとその家族は、知っている曲を口ずさんだり、子ども達や病院職員と手遊びをしたり、心温まるひとときを過ごしました。



公立森町病院

〒437-0214 静岡県周智郡森町草ヶ谷391-1
TEL. (0538) 85-2181 / 予約専用TEL. (0538) 85-0270

ホームページアドレス <http://hospital.town.morimachi.shizuoka.jp/>

森町家庭医療クリニック

〒437-0214 静岡県周智郡草ヶ谷387-1 TEL:0538-85-1340

ホームページアドレス <http://www.morimachi-fc.com/>

お正月用 玄関飾り

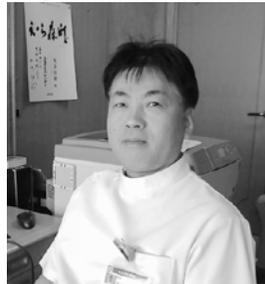


病院ボランティア「かわせみ」の方々が今年も花材を持ち寄り、お正月用の玄関飾りを作製してくださいました。



2017年 年頭所感

院長 中村 昌樹



明けましておめでとうございます。

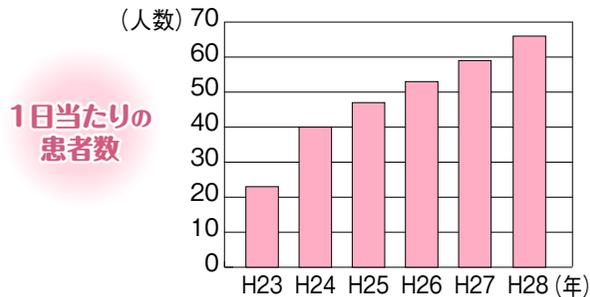
今年は酉年、干支では酉と書きますが、実際には鶏のことをいいます。鶏は夜明けの到来を告げる鳥です。新たな時代の幕開けを告げる鶏の声が聞こえてくるような今年の正月です。

人は問題に気づいたとき、何とかして解決しようと努力する力を持っています。したがって様々な技術、文化は常に変化していきます。また、人のやることに完全はなく、新たな技術は新たな問題を生み、またそれを乗り越えていくことで進歩するという繰り返しが人類の歴史であります。時代の変化は必ずやってきます。変化することに不安を抱くのは当然ですが、不安に押しつぶされ自滅するよりは、明日を信じて強く生きた方が幸せに繋がります。未来はこうに違いない、あるいはこうでなければだめだと決めつけるよりは、どんな変化にも対応できる強い心を持ちたいものだと思います。

今年も森町病院をよろしく願いいたします。

家庭医療クリニック開院5周年を迎えて

森町家庭医療クリニックは平成23年12月1日に開院して以来5年を経過しました。この間、一般的にあまり知られていなかった「家庭医」や「家庭医療」について、いろいろな場面でご説明してまいりました。その効果があつてか、患者数は次の表のとおり開院以来右肩上がり増加しています。



今後も「家族ぐるみのかかりつけ医」「全科診療」「患者さん中心の医療」をモットーに、家庭医療クリニックがもつ「地域医療への貢献」と「家庭医の養成」という2つの大きな役割を果たしていきたいと考えています。

ホームページの「コラム欄」設置

家庭医療クリニックのホームページに職員のコラムを掲載することとしました。家庭医療クリニックの情報や職員の一口コメントを載せていきますので是非ご覧ください。

【URL】 <http://www.morimachi-fc.com>

「あすの森くらぶ」ご案内

テーマ 「肩こり」

日時 2月17日(金) 18:30~20:00

場所 当院リハビリテーション室

申込 リハビリ受付に直接来院または電話(85-2181)してください



地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟の紹介

当院では、昨年3月に3つの病棟をそれぞれ機能分化させ、1病棟を急性期病棟、2病棟を地域包括ケア病棟、そして回復期リハビリテーション病棟に再編しました。

今回は、そのうちの地域包括ケア病棟（2病棟）と回復期リハビリテーション病棟の「役割」と「その違い」について説明します。



地域包括ケア病棟（2病棟）とは

平成26年度診療報酬改定により新たに創設された病棟です。当院では、当初2病棟の一部を地域包括ケア病床として運営してきましたが、昨年3月に2病棟全体を地域包括ケア病棟としました。

この病棟は、急性期治療が終了し、直ぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さま、在宅療養中に緊急入院した患者さまに対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリ（必要な患者のみ）を行なう役割を持った病棟です。

患者さまの状態に合わせて在宅サービスの調整および施設入所が決定次第退院となります。最長でも入院期間は60日です。

回復期リハビリテーション病棟とは

この病棟に入る患者さまの病名は限られていて、脳卒中や大腿骨頸部骨折等の疾患を持った患者さまを対象とした病棟です。急性期治療経過後にリハビリテーションを集中的に行い、ADL（日常生活動作）の向上による寝たきりの防止や在宅復帰を目指します。入院可能期間は病名により決められており、脳血管疾患等の場合150日（重症の場合180日）、大腿骨・骨盤・脊椎等の骨折の場合90日となります。

病棟機能の違い一覧

（平成28年12月現在）



	急性期病棟（1病棟）	地域包括ケア病棟（2病棟）	回復期リハビリテーション病棟
当院の病床数	45床	48床	38床
看護師の配置数（対入院患者数）	7対1以上	10対1以上	13対1以上
対象疾患	特に規定なし	特に規定なし	脳卒中、大腿骨骨折、廃用症候群などの発症後又は手術後の状態
高度な治療（手術等）や検査の有無	必要に応じて実施有り	原則無し ※一部例外あり（内視鏡下大腸手術等の短期滞在手術など）	無し
当院の平均在院日数	約11日	20～30日	50～60日
入院可能日数		60日まで	脳卒中：150日、大腿骨骨折・廃用症候群：90日など、疾患により違う。
リハビリテーションの実施状況	必要な患者のみ	必要な患者のみ 平日1時間程度	全患者に実施。1日2～3時間程度（土日・休日も実施）
退院先	自宅又は地域包括ケア病棟や回復期リハ病棟などの後方病棟	自宅又は介護施設など	自宅又は介護施設など

■当院では、多職種スタッフによる検討会議を毎週開催し、患者さまの状態、希望等を踏まえ、どの病棟での治療が最適かを検討しています。